

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 中田

| | | | | |
|-----|---|----|-----|----|
| 山名 | 谷川岳・一ノ倉岳・茂倉岳(群馬県) | | 山行名 | 例会 |
| ルート | ロープウェイ天神平駅→熊穴沢ノ頭→天狗の留まり場→肩の小屋→谷川岳(トモノ耳)→谷川岳(オキノ耳)→一の倉岳→茂倉岳→茂倉新道避難小屋→矢場の頭→茂倉新道登山口 | | | |
| 山行日 | 2024年6月14日～6月16日 | 天候 | 晴れ | |
| 参加者 | リーダー: 中田 サブリーダー: 西川 男性: 中田、西川、川田(弘) 女性: 玉井、徳田、蒲田、川田(真) 合計: 7名 | | | |

| | コースタイム | | | | | |
|-------------|----------------|-------|-------------|-------------|-------|-------|
| | 地名 | | 時:分 | 地名 | | 時:分 |
| | ロープウェイ 天神平駅 | 集 | 7:00 | 谷川岳 オキノ耳 | 着 | 11:03 |
| | | 発 | 7:10 | | 発 | 11:20 |
| | 熊穴ノ頭 | 着 | 7:59 | 一ノ倉岳 | 着 | 12:35 |
| | | 発 | 8:05 | | 発 | 12:38 |
| | 天狗の 留まり場 | 着 | 9:10 | 茂倉岳 | 着 | 13:11 |
| | | 発 | 9:25 | | 発 | 13:28 |
| | 肩ノ小屋 昼食 | 着 | 10:11 | 矢場の頭 | 着 | 15:09 |
| | | 発 | 10:43 | | 発 | 15:27 |
| 谷川岳 トモノ耳 | 着 | 10:45 | 茂倉新道 登山口 | 着 | 17:34 | |
| | 発 | 10:59 | | 発 | | |

山行報告

昨年は準備不足で例会を断念していましたが、今回はコース設定を変更して再チャレンジしました。梅雨前で天候が不安でしたが幸い予報の崩れがないので実施決定した。群馬県の水上まで8時間の道のりを覚悟で運転者を交替して無人駅(土樽駅)に着き、清水トンネルを土合駅に移動です。上越線:土合駅の日本一長いモグラ駅(486段:階段)を体験してから土合の家(泊り)周辺の散策でサルに遭遇して目を合わせない様に静かに退散した。翌日はロープウェイ天神平駅から登頂した。若いハイカーが多く後からどんどん追い越して行きます。快晴の青空が広がり暑い・暑い、爽やかな涼風が体を抜けて気持ち良い!! 肩の小屋の周りには若いハイカーで賑わい、軽く昼食を済ませて目の前に見える谷川岳の山頂に向かう。まずは手前にトモノ耳、奥のオキノ耳(双耳峰)写真を取り合うなか我々も参加して撮って貰う。土合の家で聞いてきた登山者が京都から来た山岳グループの方ですか? 麓で大分有名になったようです。なにせ遠方の関西から来る人は珍しい。一の倉岳方面に向かうと極端に人が少なく、対照的に登山道が険しくなってきた。美しい稜線を歩くのですがYケン(山)の訓練しているようです。一の倉岳までは東側・西側の高度感が抜群。尾根歩きの魅力的な眺めはいままで味わったことのない景色を堪能できた。「魔の山」と恐れられた一の倉沢の岩壁を恐れも無く登る登山者に畏敬の念をいただきます。途中で軽装備のハイカーに尋ねると白毛門から馬蹄形コースを走るように来たとのこと。とてもまねできない。大汗かいて茂倉岳から避難小屋に着いて驚き、避難小屋が新しく宿泊に充分対応できる設備に感心。これからが大変な茂倉新道に入ります。高い高低差、岩場、鎖場、ロープが次から次へと登場する約4時間コース、先に出発される方から滑らないようにと注意を頂いた。もし雨が降ればとても真面に歩けないルートは地元の慣れたメンバーしか通らないようです。体力と水補給がギリギリの所でやっと登山口に無事に着いた。参加したメンバー全員の疲労度が高いようですが元気です。お疲れ様でした。

ヒヤリハット

感想文

川田（弘）

百名山の一山である谷川岳。いつか行ってみたい山でした。登山日は文句のつけようのない晴天で、美しくまた迫力のある景色が楽しめました。下りはかなりの急斜面があり、鎖、ロープを使う場面もあり、結構大変でした。特に、足を掛ける突起の少ない岩場を鎖で降りるときはかなり緊張しましたが、先行で降りてくれた方から指示をいただき有難かったです。京田辺市からは遠方がありますが、また登ってみたい山ですね。参加の皆さん、お世話になりました。



※谷川岳の写真の一部を、今月号の表紙に使わせて頂きました（会誌部より）